

## ● 全国高等専修学校協会理事会

2月19日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場として全国高等専修学校協会の理事会が開催された。

清水信一会長が開会あいさつを述べ、白鳥綱重文科省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ねて、平成27年度高等専修学校関係予算案について説明。議事に入り、(1)平成27年度事業計画・収支予算原案(活動方針：①高等専修学校の社会的認知向上のため、現在の「大学入学資格付与指定校」から制度の名称を変更して、高等学校と並ぶ後期中等教育機関としての位置づけを明確にする＝本理事会において【表記例】「大学入学資格付与(高等学校卒業程度)指定校」高等専修学校(又は自校名)と表記することを申し合わせる。定例総会においても提案して、全国の3年制高等専修学校に使用を呼びかける。②高等専修学校における安全・安心な学習環境の確保のため、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付への加入を実現する＝制度改善研究委員会とは別に、堀居英治先生と小川明治先生、大竹義昭先生による特別チームにより、保険問題として対応する。5月13日の高等専修学校合同会議において、保険問題に関するアンケート調査案並びに現行保険制度と災害共済給付とが分かりやすく比較検討できる資料を作成しておくこととなった。質疑応答及び広く意見交換を行い、原案どおり異議なく承認された。

理事会終了後に平成27年度文部科学省委託事業「高専連携分野職域プロジェクト・発達障がい分野成果報告会」がアルカディア市ヶ谷を会場として開催され、53名が受講。

清水会長が開会あいさつを述べ、白鳥綱重文科省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを述べた。幹事校である大岡学園の大岡豊理事長と鳥取大学の長尾博暢准教授が高専連携分野取りまとめ事業成果報告。職域プロジェクト事業成果報告として、①IT・ビジネス分野＝郡山学院高等専修学校、②服飾分野＝細谷高等専修学校、③調理衛生分野＝大育高等専修学校、④福祉分野【保育】＝大岡学園高等専修学校、⑤福祉分野【介護】＝安城生活福祉高等専修学校、⑥理容美容分野＝国際理容美容専門学校。続いて、発達障がい分野事業成果報告として、①職域プロジェクト事業成果報告＝大岡学園高等専修学校、②「発達障がいのある生徒等、特別に配慮が必要な生徒が学ぶための教育カリキュラム等の開発～職業教育と混合教育(インクルーシブ教育)の成果～」ならびに「発達障がいのある生徒など特別

に配慮が必要な生徒の就労支援及び卒業後の定着・フォロー支援の確立」  
＝武蔵野東高等専修学校、が発表し、受講者との質疑応答を行い、白鳥文科省専修学校教育振興室長が講評を述べて終了した。